

「平成 28 年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」 事業実施報告書

【学校名】 井手町立井手小学校・多賀小学校
・泉ヶ丘中学校

【全校児童・生徒数】 井手小 ; 222名
多賀小 ; 99名
泉ヶ丘中 ; 154名

- I スポーツへの誘い 自己肯定感の醸成
- II 障害者や高齢者への理解 共生社会の形成
- III スポーツへの関心や競技力向上 スポーツボランティアへの参画
- IV オリンピック・パラリンピックに向けた京都の伝統や文化等の発信
- V 国際理解教育の推進

【テーマ】 I II III IV (V)

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピック給食

【実践学年、部、講座等（学年別・男女別人数）】

井手小学校；222名 多賀小学校；99名 泉ヶ丘中学校；154名
全校児童生徒・総計475名

【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックの価値 ※当てはまるものに○・複数可	友情 () 卓越 () 尊重 (○)
	勇気 () 決断力 ()
	平等 () 鼓舞 ()
※目的・ねらいを記入してください	
・我が国の伝統的な郷土料理を給食で提供し、掲示物や授業等を活用してユネスコ無形文化遺産である和食を世界にアピールできるようにするとともに、オリパラ給食の日を設定し、オリパラメニューの提供や給食時間の放送、掲示物の展示等により、オリンピック・パラリンピックが開催された国々の食文化を知る。	

【種類】 ※当てはまるものに○・複数可、()には具体名を記入

- ・各教科 () ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・部活動 () ○その他 (学級活動)

【実践内容等】

(実践内容)

1 和食文化の学習 (だしで味わう和食の日)

2 オリパラ給食の実施

- (1) 1月～3月に各1回、外国の料理を取り入れた献立を実施
<1月；オーストラリア・2月；韓国・3月；未定>
- (2) オリパラ給食に関連した話を、町内小学校の朝礼で栄養職員が実施。
- (3) 放送委員会の児童生徒による給食時の放送の実施。

3 我が国の郷土料理の学習 (1月24日～30日)

(実践上の工夫点、留意点等)

給食を食べることだけに終わらないよう、児童生徒に興味関心を持たせるための資料を工夫した。また、事前や事後の取組を通して和食に対する理解を深めたり、外国の文化にも興味を持てるように工夫した。

(成果)

- (1) 身近な給食を活用することで、興味関心を持たせやすく、ホームルームや給食時間中の放送など、手軽に取り組むことができた。
- (2) 「オーストラリアの料理を始めて食べたけどおいしかった。世界の給食が好きになりました」「もっといろんな国を知って、料理も食べてみたい」「世界の料理もおいしいけど、私は和食が一番好きです」「姉妹校があるオーストラリアのことがわかった」など様々な感想が聞かれた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題等】

- (1) シリーズ化し多くの国の料理を紹介していきたいが、コストや食材の調達など、様々な課題もあり、給食センターの負担が大きい。
- (2) 味のおいしさだけでなく、それぞれの国の文化等にも興味を持たせられるように継続的に実施していく必要がある。

*資料<当日の様子など>

～オリパラ献立～
オリンピック・パラリンピック教育モデル推進校の事業の一環として、世界各国の料理を紹介します。

今日は、泉ヶ丘中学校の姉妹校がある
オーストラリア

オーストラリアはたくさんの国から移民を受け入れているため、様々な国の食文化が混ざり合っています。そのため、これぞ！という典型的なオーストラリア料理はありませんが、バーベキューが盛んで、牛肉や羊肉のほか、サーモンやロブスターなどの新鮮な魚介類もよく使われています。また、広大な土地では農業が盛んで、ひよこ豆は世界第2位の生産量があります。

ひよこ豆は、ヒヨコに形が似ていることからその名前がついたよ。



シドニー大会は、2000年に行われたよ。
 クリケットやネットボールも盛んだよ。



～日本味めぐり～

愛知県

沖縄県

- クワフージュシー
 沖縄の言葉で、「クワ」は「硬め」、「ージュシー」は「炊き込みごはん」のことです。昆布をたっぷり使ったごはんは、豚肉と昆布を組み合わせると味がぐんと深まります。
- イナムドッチ
 イナは「いのしし」、「ムドッチ」は「もどき」という意味です。首はいのししの角を使っていますが、角は豚肉を使うのが一般的です。短冊に切った材料を甘みそで炊いた真だくさんの汁物で、お祝い料理の一品として作られます。
- にんじんシリシリ
 「シリシリ」は「千切り」という意味で、沖縄では専用のシリシリ器を使って、にんじんを細く長く切って作ります。

～日本味めぐり～

長野県

長野県には、(野沢菜)野沢菜は、長野県の野沢菜産地を代表する野菜です。10月～11月に収穫した野沢菜を、昆布で「お漬物」にしたのが、天ざるの漬物で漬物に作られます。

11/24は「和食の日」

今日11/24は「いい日本食」の語呂合わせから、日本人の伝統的な食文化について見直す日として、「和食の日」とされています。

だしの「うまみ」は和食の基本です！

どんなものからだしをとるか知っていますか？

かつお節、こんぶ、煮干し、干しいたげ

昆布やかつお節などの天然素材からとっただしは、旨みがよく、うまみや栄養が豊富なため、だしを使った料理は、塩や砂糖などの調味料を控え、味付けを薄めに行うことで、とても健康的です。給食でもいつも素材からだしをとっています。

様式 I

「平成 28 年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」 事業実施報告書

【学校名】 井手町立井手小学校・多賀小学校

【全校児童・生徒数】 井手小 ; 222名
多賀小 ; 99名

【テーマ】 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ V

I スポーツへの誘い 自己肯定感の醸成
II 障害者や高齢者への理解 共生社会の形成
III スポーツへの関心や競技力向上 スポーツボランティアへの参画
IV オリンピック・パラリンピックに向けた京都の伝統や文化等の発信
V 国際理解教育の推進

【実践研究タイトル】

オリンピック等との出会い

【実践学年、部、講座等（学年別・男女別人数）】

井手小学校 5・6年生 77名（5年男；18名・5年女；16名・6年男；21名・6年女；22名）
多賀小学校 5・6年生 33名（5年男；10名・5年女；4名・6年男；9名・6年女；10名）
総計110名

【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックの価値 ※当てはまるものに○・複数可	友情（○） 卓越（○） 尊重（ ） 勇気（○） 決断力（ ） 平等（ ） 鼓舞（○）
-------------------------------------	--

※目的・ねらいを記入してください

- ・オリンピック等との出会いの中で、運動への関心を高め、『さあやってみよう』という「スポーツごころ」を育てる。
- ・一流選手の指導を受けたことをはげみに、自身の記録に挑戦することによって、自信や希望を持って何事にもチャレンジする精神を育てる

【種類】 ※当てはまるものに○・複数可、（ ）には具体名を記入

- 各教科（体育科） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・部活動（ ） ・その他（ ）

【実践内容等】

（実践内容）

1 事前指導 ※朝原選手の活躍を収めたDVDの活用

2 オリンピアンとの出会い

朝原宣治氏（北京オリンピック4×100mリレー銅メダリスト）

山本慎吾氏（小学生100m日本記録保持者）

- (1) 準備運動<NOBY 体操>
- (2) 実技指導<リレーのバトンパスのコツ等>
- (3) オリンピアンに挑戦<4×50m リレー・50m 走で、代表者が競走>

3 事後指導 ※体育指導でNOY体操を実施

（実践上の工夫点、留意点等）

- (1) オリンピアンとの出会いを効果的にするため、事前指導を実施した。
- (2) オリンピアンのスケジュールに合わせて、全体のプログラムを変更し、オリンピックとの交流の時間を十分に確保できるようにした。
- (3) 指導していただいたトレーニング法を、体育科の指導に取り入れた。

(成果)

(1) 事後の児童の様子から、「銅メダリストの朝原選手と一緒に体操ができてうれしかった」「教えてもらったことを意識してやったら、バトンパスがうまくできてよかった」「目標を持って努力することが大切だと思った」「運動が苦手だったけど、走るのが少し好きになった」「東京オリンピックが楽しみ」など様々な感想が聞かれ、交流の成果がみられた。

(2) 体操を教えていただいたことで、体育科の指導の _____ が増えた。来年度の体カテスト等で運動の能力の向上が見られることを期待したい。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題等】

オリンピックの日程調整が難しいが、運動への意欲を高める上でとても効果的な取組であり、来年度以降も継続していきたい。

*資料<当日の様子>



「平成 28 年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」 事業実施報告書

【学校名】 井手町立井手小学校・多賀小学校
・泉ヶ丘中学校

【全校児童・生徒数】 井手小 ; 222名
多賀小 ; 99名
泉ヶ丘中 ; 154名

- I スポーツへの誘い 自己肯定感の醸成
- II 障害者や高齢者への理解 共生社会の形成
- III スポーツへの関心や競技力向上 スポーツボランティアへの参画
- IV オリンピック・パラリンピックに向けた京都の伝統や文化等の発信
- V 国際理解教育の推進

【テーマ】 ① ② III IV V

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピック知恵袋
オリンピック・パラリンピック種目との出会い

【実践学年、部、講座等（学年別・男女別人数）】

井手小学校；222名 多賀小学校；99名 泉ヶ丘中学校；154名
全校児童生徒・総計475名

【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックの価値 ※当てはまるものに○・複数可	友情 () 卓越 (○) 尊重 (○)
	勇気 (○) 決断力 ()
	平等 (○) 鼓舞 (○)

オリンピック・パラリンピックに関する掲示物を通じて、スポーツへの関心を高め、自ら進んでスポーツに親しみ、主体的に取り組む意識を育てるとともに、障害者スポーツの理解へつなげる。

【種類】 ※当てはまるものに○・複数可、()には具体名を記入

- 各教科（体育）
- 道徳
- 外国語活動
- 総合的な学習の時間
- 特別活動
- 部活動 ()
- その他（オリンピック・パラリンピック掲示版）

【実践内容等】

（実践内容）

1 オリ・パラ知恵袋

オリンピック・パラリンピックの資料や情報を共有するための掲示板を設置。

メダルの種類と成分

招致活動とパラ種目



オリンピックの変遷とロゴマーク

リオ出場選手・開催国



世界の国々について



東京オリンピックの様子



2 パラリンピック種目との出会い

(1) 掲示板の活用

パラリンピック発祥の歴史・競技種目



(2) 体育科等でのパラリンピック種目体験

ア ボッチャの体験

学校や教育委員会・町スポーツ推進委員等で南山城支援学校での講習会に参加した。

京都府立心身障害者福祉センターからボッチャの道具を借用し、1月末より体験授業を実施した。



イ シットティングバレーボールの体験

プレルボール用ネットを利用し、体育の導入等でシットティングバレーボールを体験させた。

2月・3月も実施予定



ウ ブラインドサッカーの体験

2月・3月で実施予定

(実践上の工夫点、留意点等)

(1) オリ・パラ知恵袋

ア 掲示板でみえる化を図り情報共有を図った。

イ クイズも取り入れ、興味関心を高めた。

(2) パラリンピック種目との出会い

ア 教材の準備や購入の関係で、年間指導計画を入れ替えながら、年度内で体験できるように工夫した。

(成果)

(1) オリンピック・パラリンピックの歴史についての学びを深めることができた。

(2) 掲示することで、オリンピック・パラリンピックについての興味関心を高めることができた。

(3) パラリンピック種目は、実際に経験することで、認知や関心がより高まった。来年度以降、様々な人々との交流に発展させていきたい。

(4) ボッチャの道具を京都府立心身障害者福祉センターからお借りすることができた。他のパラリンピック種目・障がい者スポーツについても、交流の拠点としても期待でき、来年度以降、充実させていきたい。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題等】

掲示物の内容を工夫することで、児童の興味関心を高めることができたが、より効果的な物にするために、オリンピック・パラリンピックの各種目のルール・道具等についても掲示し、学級指導・体育指導とリンクさせていく必要がある。

また、オリパラ教育の視点を踏まえた体育科の年間指導計画を作成する必要がある。